



2024年8月8日

各 位

会社名 株式会社 ゼロ  
 代表者名 代表取締役社長 高橋 俊博  
 (コード番号 9028 東証スタンダード)  
 問合せ先 グループ戦略本部経営企画部長 伊達 貴司  
 (TEL. 044 - 520 - 0106)

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催された取締役会において、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、現状の分析・評価、並びに改善に向けた具体的な取り組みを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 現状の分析・評価

当社の PBR は 2024 年 6 月末時点で 0.84 倍であり、早期に 1 倍以上を実現させることが最も重要な経営課題の一つであると認識しております。一方で ROE は、2020 年 6 月期以降継続して 8.0%（伊藤レポートで最低限上回るべきとされている数値）を超えており、かつ CAPM に基づいて計算された当社の株主資本コストを上回っている（エクイティ・スプレッドはプラス）と認識しておりますので、理論上 PBR は 1 倍を超えると理解しておりますが、株主還元や株式流動性、および利益の安定性や成長性が影響して株価が下押しされているものと評価しております。

株主還元につきましては、配当性向が継続して 25% となっており、2017 年 6 月期以降自己株式の取得を行っていないため、配当性向・総還元性向共に上場企業の平均を下回っております。

株式流動性につきましては、「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗報告」で開示している通り、日々の出来高が低水準で推移しておりますので、一定の流動性リスクプレミアムが存在し、当社の株主資本コストに影響を及ぼしているものと認識しております。

利益の安定性や成長性につきましては、継続して増益を果たせていないことに加えて、IR 活動が不十分なことより、中長期的な成長性を示し切れていないことも一因と認識しております。

	単位	2019年 6月期	2020年 6月期	2021年 6月期	2022年 6月期	2023年 6月期	2024年 6月期
売上収益	百万円	90,228	89,501	92,171	107,045	132,861	140,751
営業利益	百万円	3,305	3,675	5,332	3,912	5,074	6,222
税引前利益	百万円	3,294	3,679	5,373	3,947	5,080	6,227
当期利益※1	百万円	1,658	2,374	3,626	2,535	3,437	4,150
純資産※2	百万円	23,056	24,864	28,280	30,067	33,285	37,209
ROE※3	%	7.3	9.9	13.6	8.7	10.9	11.8
期末株価	円/株	801	868	1,284	1,044	1,334	1,852
PBR※4	倍	0.58	0.58	0.76	0.58	0.68	0.84
PER※4	倍	8.03	6.10	5.93	6.92	6.54	7.54

※1 親会社所有者に帰属する当期利益、※2 親会社所有者に帰属する持分

※3 ROE の計算式：
$$\frac{\text{親会社所有者に帰属する当期利益}}{\text{親会社所有者に帰属する持分（当該期とその前期の平均値）}}$$

親会社所有者に帰属する持分（当該期とその前期の平均値）

※4 株式時価総額の前提：期末株価×発行済株式数（自己株式控除後）

## 2. 改善に向けた具体的な取り組み

### A. 株主還元方針の見直し

2025年6月期より株主還元方針を見直し、配当性向を現状の25%から33%を目途に引き上げます。今後、親会社所有者に帰属する当期利益を、「株主還元」「成長投資」「財務安定化」に三分割してバランスを取っていく方針であります。また、変更後の配当性向は上場企業における配当性向の平均に位置すると認識しております。

### B. 株式流動性の向上

「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗報告」で開示している通り、当社の株式を保有している法人株主の皆様に対して、株式の売却を広く呼びかけるなど、あらゆる可能性を検討した上で、流通株式比率の向上に資する施策を実行していくことで、上場維持基準の適合、および流動性リスクプレミアムの低減を目指してまいります。

### C. 資本収益性の向上

祖業である車両輸送事業を主軸にしながら、一般貨物事業・ヒューマンリソース事業・海外関連事業を拡大させることで車両輸送事業に依存しない事業ポートフォリオを構築してまいりましたが、今後は事業ポートフォリオや保有資産の見直し、並びに新規事業への投資や企業買収などを実施していくことによって、企業価値向上を実現させてまいります。

「株式会社ソウイングの株式取得（子会社化）のお知らせ」で開示している通り、新たに企業買収を実施いたしました。今後も資本収益性の向上を意図して財務レバレッジも有効に活用しながら、更なるROEの向上を目指してまいります。

2025年6月期より始まる新たな中期経営計画におきましては、目標値として2027年6月期に売上収益1,500億円以上、営業利益100億円以上、ROE14.0%以上を目指してまいります。

### D. IR活動の充実

株主・投資家の皆様と対話をする機会を増やすことで、当社を取り巻く事業環境、今後の成長戦略および非財務情報を共有させていただき、株価およびPBRの向上に繋げてまいります。具体的には今後以下の情報開示を充実させていくよう努めてまいります。

- ・セグメント別の事業環境や収益性、顧客動向、競合他社の状況および競争優位性
- ・今後の成長戦略、および事業ポートフォリオ
- ・非財務情報

以 上